



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノーリツ

コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 金田 友三郎

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日

平成25年9月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	90,423	1.2	3,816	3.2	4,464	8.2	3,165	18.4
24年12月期第2四半期	89,316	0.5	3,696	△9.6	4,124	△8.9	2,674	13.4

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 8,157百万円 (149.3%) 24年12月期第2四半期 3,272百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	66.21	—
24年12月期第2四半期	55.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	162,563	100,108	61.6
24年12月期	159,910	92,724	58.0

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 100,108百万円 24年12月期 92,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	2.6	9,500	7.5	10,100	2.9	6,200	3.7	129.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	50,797,651 株	24年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	2,977,900 株	24年12月期	2,977,028 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	47,820,296 株	24年12月期2Q	47,821,096 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和政策や政府による経済政策への期待感から円安と株高が進行し、企業収益や個人消費の一部に緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、中国をはじめとする世界経済の減速懸念や円安による輸入品の価格上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内住宅設備業界におきましては、建設労働者の不足や建設資材の価格上昇などの影響が懸念されるものの、住宅ローン減税やフラット35Sの金利優遇政策のほか、2014年4月に予定される消費税率引き上げをにらんだ需要増なども下支えとなり、新築住宅着工見込戸数は昨年を上回る環境下にあります。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「Vプラン16」に基づき、国内・海外の両事業にて業績拡大を図るため、成長事業の育成やコスト競争力の強化などを重点課題として、高効率給湯器・太陽光発電システム・コージェネレーションシステムなどの拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高904億23百万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が38億16百万円（同3.2%増）、経常利益が44億64百万円（同8.2%増）、四半期純利益が31億65百万円（同18.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第2四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が824億71百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益が28億47百万円（同19.8%減）となりました。

温水空調分野では、新設向け需要が増加する一方、取り替え需要が減少し、国内の給湯器の総需要は減少しました。当社グループは、取り替え需要拡大に向け、ショールームを活用したキャンペーンなどを積極的に展開しましたが、給湯器全体の販売台数は前年を下回りました。しかし、環境・省エネ意識の高まりにより、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」などの、環境性、経済性に優れた給湯器の販売台数は前年を上回りました。

厨房分野では、節電意識の高まりを受け、引き続きガスビルトインコンロの需要が好調でした。美しく上質な素材とワンランク上の機能を備えた新商品「スタイリッシュブリンク レボア プレミアム」が好評で、ガスビルトインコンロの販売台数が増加しました。

新エネルギー分野では、取扱店の拡大や他分野商品とのセット提案などの営業政策に加え、好調な住宅着工、自然エネルギーへの関心の高まり、再生可能エネルギー固定価格買取制度の継続などの影響もあり、特に太陽光発電システムの販売が大きく伸びました。

住設システム分野では、洗面化粧台の販売が好調だった反面、システムバスとシステムキッチンの販売台数は前年同期を下回る結果となりました。

② 海外事業

当第2四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が127億63百万円（同45.7%増）、セグメント利益が9億69百万円（同567.9%増）となりました。中国では、引き続き政府の不動産価格抑制策の影響を受けているものの、上海市以外への販売エリア拡大や新規チャネル開拓などの効果もあり、売上高が大幅に増加いたしました。米国では、住宅着工・住宅販売の回復など経済環境の好転を背景に、環境配慮商品が販売を伸ばし、売上高が増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,625億63百万円（前連結会計年度末比26億53百万円増）となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が減少したこと等により974億76百万円（同36億4百万円減）となりました。また、固定資産は投資有価証券が増加したこと等により650億86百万円（同62億57百万円増）となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により624億55百万円（同47億30百万円減）となり、少数株主持分を含めた純資産につきましては1,001億8百万円（同73億83百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は61.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は295億16百万円と前連結会計年度末に比べ27億50百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得た資金は62億9百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益41億31百万円、減

価償却費24億95百万円および売上債権の減少額80億29百万円等による資金の増加、仕入債務の減少額51億20百万円および法人税等の支払額21億17百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出した資金は30億73百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入10億円等による資金の増加、有形固定資産の取得による支出36億24百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出した資金は8億93百万円となりました。これは主に配当金の支払額7億64百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,944	22,695
受取手形及び売掛金	52,304	46,154
有価証券	6,795	9,410
たな卸資産	11,980	13,516
その他	6,174	5,842
貸倒引当金	△117	△143
流動資産合計	101,081	97,476
固定資産		
有形固定資産	29,999	31,693
無形固定資産	2,281	2,989
投資その他の資産		
投資有価証券	20,619	26,023
その他	6,298	4,749
貸倒引当金	△369	△368
投資その他の資産合計	26,548	30,403
固定資産合計	58,829	65,086
資産合計	159,910	162,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,531	30,109
短期借入金	2,016	1,947
未払法人税等	2,158	1,005
賞与引当金	1,824	1,361
役員賞与引当金	35	—
製品保証引当金	662	664
製品事故処理費用引当金	49	25
その他	12,949	13,325
流動負債合計	53,228	48,439
固定負債		
退職給付引当金	9,199	9,262
役員退職慰労引当金	51	43
製品保証引当金	307	264
その他	4,399	4,445
固定負債合計	13,957	14,015
負債合計	67,185	62,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	53,633	56,034
自己株式	△5,081	△5,083
株主資本合計	91,677	94,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259	5,063
繰延ヘッジ損益	—	△5
為替換算調整勘定	△217	973
その他の包括利益累計額合計	1,041	6,031
少数株主持分	5	—
純資産合計	92,724	100,108
負債純資産合計	159,910	162,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	89,316	90,423
売上原価	63,444	63,796
売上総利益	25,872	26,627
販売費及び一般管理費	22,175	22,810
営業利益	3,696	3,816
営業外収益		
受取利息	122	128
受取配当金	197	223
受取賃貸料	98	76
為替差益	24	219
その他	210	197
営業外収益合計	653	845
営業外費用		
支払利息	21	13
固定資産賃貸費用	57	52
その他	146	132
営業外費用合計	226	198
経常利益	4,124	4,464
特別利益		
投資有価証券売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産処分損	79	73
退職給付費用	—	259
その他	1	—
特別損失合計	81	332
税金等調整前四半期純利益	4,064	4,131
法人税、住民税及び事業税	1,272	1,002
法人税等調整額	117	△37
法人税等合計	1,390	965
少数株主損益調整前四半期純利益	2,674	3,166
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	2,674	3,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,674	3,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	3,804
繰延ヘッジ損益	29	△5
為替換算調整勘定	89	1,192
その他の包括利益合計	597	4,990
四半期包括利益	3,272	8,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,272	8,156
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,064	4,131
減価償却費	2,653	2,495
売上債権の増減額 (△は増加)	6,214	8,029
たな卸資産の増減額 (△は増加)	135	△1,075
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,708	△5,120
法人税等の支払額	△1,791	△2,117
その他	981	△133
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,550	6,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	—
定期預金の払戻による収入	1,215	1,000
有価証券の取得による支出	△2	△402
有価証券の売却及び償還による収入	34	813
有形固定資産の取得による支出	△3,211	△3,624
その他	△762	△859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,726	△3,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△47	△95
配当金の支払額	△765	△764
その他	△28	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△841	△893
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,002	2,750
現金及び現金同等物の期首残高	24,371	26,765
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,373	29,516

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,258	7,058	89,316	—	89,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,882	1,701	3,584	(3,584)	—
計	84,140	8,759	92,900	(3,584)	89,316
セグメント利益	3,551	145	3,696	—	3,696

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,101	10,322	90,423	—	90,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,370	2,441	4,811	(4,811)	—
計	82,471	12,763	95,235	(4,811)	90,423
セグメント利益	2,847	969	3,816	—	3,816

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

重要な株式取得

当社は、平成25年1月21日開催の取締役会の決議により、櫻花衛厨(中国)股份有限公司(本社:中華人民共和国江蘇省)の実質的な持株会社である、Sakura(Cayman)Co.,Ltd.(本社:ケイマン)の株式について、その55%を保有する株主であるBrightcord Investment Ltd.(本社:サモア)と、当該保有分全てを取得するための株式譲渡契約を締結していましたが、平成25年7月22日に当該株式を取得いたしました。

(1) 株式取得の理由

当社は中期経営計画(「Vプラン16」計画期間:2011年~2016年)において、2016年までに海外事業の売上高を400億円(2010年度比2.5倍)にまで拡大し、海外事業比率で16.0%(2010年度比1.7倍)とすることを目標としています。中国は、当社のグローバル戦略上の重要性、市場規模及び今後の市場成長性、当社製品の販売拡大可能性の観点から、重点エリアと位置付けており、同地域において事業基盤を確保・拡大することが当社の長期的な成長に資するとの判断から、当該株式を取得いたしました。

(2) 株式取得の相手先の名称

Brightcord Investment Ltd.

(3) 株式取得の対象会社等の概要

①対象会社の概要

名称：Sakura (Cayman) Co., Ltd.

所在地：George Town, Grand Cayman KY 1-1112, Cayman Islands

事業内容：給湯器等の製造・販売を行う櫻花衛厨(中国)股份有限公司株式(90%)の間接的な保有

資本金：13,000千米ドル

②対象会社が直接的に保有する子会社の概要

名称：Sakura China Holdings (Hong Kong) Company Limited

所在地：North Point, HongKong

事業内容：給湯器等の製造・販売を行う櫻花衛厨(中国)股份有限公司株式(90%)の保有

資本金：13,000千米ドル

③対象会社が間接的に保有する主な子会社の概要

名称：櫻花衛厨(中国)股份有限公司

所在地：中華人民共和国江蘇省昆山市

事業内容：給湯器、ガスコンロ、レンジフード及びその他の厨房機器、サニタリー設備、キッチン・サニタリーの電気製品及びその部品、ならびにキッチン家具、厨房設備、サニタリー家具等の家庭用家具・設備の生産。自社生産商品の販売及び自社製品に対する修理、据付等のアフターサービスの実施。企業が生産する商品と同種の製品の卸売及び輸出入業務への従事

資本金：320,000千元

(4) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数：0株（所有割合：0%）

取得株式数：7,150,000株（発行済株式総数に対する割合：55%）

取得価額：Sakura (Cayman) Co., Ltd. の普通株式 89,013千米ドル

アドバイザリー費用等（概算額） 234百万円

異動後の所有株式数：7,150,000株（所有割合：55%）

(注) 本件株式取得の他に、櫻花衛厨(中国)股份有限公司の少数株主より、同社株式の6.11%を取得金額10,986千米ドルで譲り受けました。

(5) 支払資金の調達及び支払方法

内部留保資金及び借入金

(6) 株式取得の時期

平成25年7月22日